

目 次

I. 総合研究報告

低年齢児保育が子どもの発達等に及ぼす効果・影響の解明のための研究・・・1

II. 分担研究報告

1. 低年齢児保育の質尺度(案)の開発過程 (R6 年度)・・・6

箕輪潤子

2. 低年齢児保育の意識と実態～インタビュー調査・質問紙調査から～

1) 保育施設の管理職の考える低年齢児保育の質・・・23

箕輪潤子

2) 日本の低年齢児保育の質（プロセスの質）を問う視点の探究－低年齢児保育を実践している保育士・保育教諭が大切にしていることの分析から－・・・29

菅井洋子

3) 保育従事者へのアンケートの実施『低年齢児保育で困難に感じていること』自由記述回答の分析から・・・34

堀科

4) 低年齢児保育の質評価手法に関する研究者ならびに施設長・園長の認識・・・38

淀川裕美

5) 低年齢児の保育の質向上のためのスケールを利用したエンパワーメント評価の可能性・・・45

猪熊弘子

6) 低年齢児保育の質とその向上を支える保育者・施設長の研修機会との関連・・・51

今福理博

7) 低年齢児保育における保育内容に関する保育者の意識と実態・・・58

箕輪潤子

8) 低年齢児保育に関する保育者の認識－安全に着目して－・・・64

猪熊弘子

9) 職場におけるソーシャル・キャピタルと低年齢児保育における保育観および保育実践との関連・・・68

峰友紗

付録 リーフレット